

# バードリサーチ

寄付者による投票で  
支援額が決まる

# 調査研究支援プロジェクト

あなたの1票を、調査研究の推進力に！

## 1. 選ぶ

バードリサーチが募集し、一次選考によって選んだ最大9件+バードリサーチからの1件の調査・研究プランの中から、応援したいプランを選んでください。

## 2. 寄付

個人一口  
3,000円

\*何口でもOKです。

## 3. 投票

1口の寄付に対して1票をお預けします。寄付が複数口の場合、ひとつのプランに何票投票しても構いませんし、複数のプランに投票することもできます。投票先を指定しない寄付も大歓迎です。

## ●寄付&投票するには...



### a. クレジットカードで寄付を送る場合

下記のホームページをご覧ください。

[http://www.bird-research.jp/1\\_event/aid/kifu.html](http://www.bird-research.jp/1_event/aid/kifu.html)

### b. 銀行または郵便局から寄付を送る場合



#### Step 1. メールまたはFaxを送る。

下記の担当宛てにメールかFaxで次の項目を伝えてください。

- ・お名前とご住所
- ・メールアドレス
- ・寄付口数
- ・支援する調査・研究プラン  
(寄付が複数口の場合は、プランごとの票数)
- ・あなたのお名前を支援先に伝えて良いかどうか

バードリサーチ調査研究支援プロジェクト担当  
高木 憲太郎

E-mail: [br@bird-research.jp](mailto:br@bird-research.jp)

Fax: 042-401-8661

#### Step 2. お金を振り込む。

下記のいずれかの口座に合計額を振り込んでください。  
(振り込み手数料はご負担ください。)

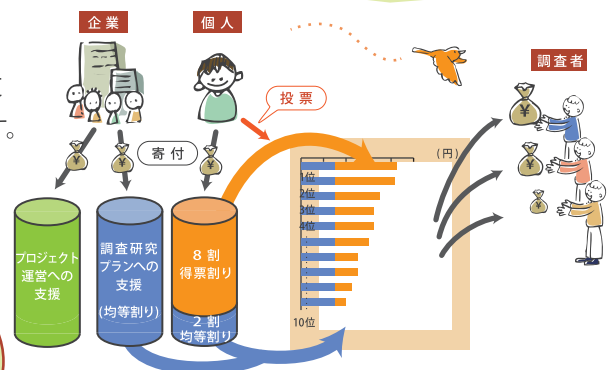
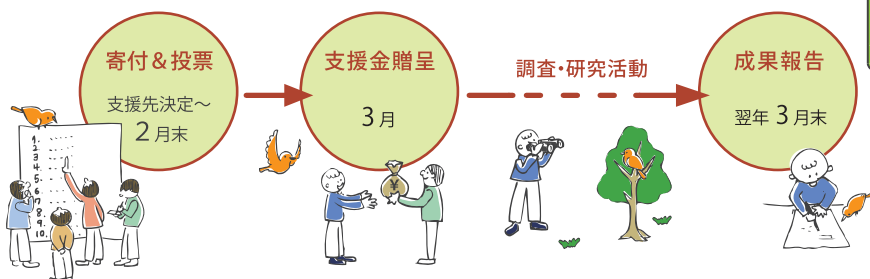
- ジャパンネット銀行（銀行番号 0033）  
本店営業部（支店番号 001）  
普通 8148578  
名義：トクヒ）バードリサーチ
- 郵便振替口座  
記号番号：00150-9-685654  
名義：特定非営利活動法人 バードリサーチ
- 郵便貯金（ばるる口座）  
記号番号：10120-49233551  
名義：特定非営利活動法人 バードリサーチ

## ●支援額の決定方法

集まった寄付のうち、2割を支援先に均等に分配し、8割を得票数に応じて支援先に分配します。また、企業からいただいた寄付は支援先に均等に分配します。

1件のプランへの支援額は、1万円～50万円程度を想定しています。

## ●スケジュール



# 2020年度 支援先調査研究プランのご紹介

2020年9月～10月に支援先となる調査研究プランの募集を行ない、13件のプランが集まりました。その中から支援先を決定するため、上田恵介立教大学名誉教授、金井裕日本野鳥の会参与、出口智広兵庫県立大学准教授、水田拓山階鳥類研究所保全研究室長、植田睦之バードリサーチ代表の5名で一次審査を行ない、バードリサーチからの1件を含め10件の支援先を選定しましたので、各プランの概要をご紹介します。詳細はホームページにPDFで掲載しています。



## 蓮田の防鳥ネット有効性(無効性)の検証, 野鳥の羅網死をなくすために

境友昭 ([公財]日本鳥類保護連盟)

境さんは、蓮田で羅網死している鳥が内側から引っかかっていることから、侵入を防ぐ目的の防鳥ネットが、本来の機能を果たしていないのではないかと考えました。そうであれば、ネットの敷設は農家の負担でしかありません。この調査研究プランでは、主な対象を昼行性のサギ類とオオバンとして、蓮田への侵入経路などの行動と蓮田の対策状況や収穫の段階との関係を調べます。



## 世界遺産平城宮跡で寝るツバメはどこから集まってくるのか

— 6万羽のねぐら入りルートを探る —

奈良ツバメねぐら研究部 (岩井明子・西田好恵・三輪芳己)

奈良県の平城宮跡のねぐらに集まるツバメの個体数は2010年代前半に増加し今では6万羽にもなるそうです。奈良ツバメねぐら研究部では周辺の他のねぐらの消滅が背景にあるのではないかと考え、どこからツバメが帰ってくるのかを調べています。この調査研究プランでは、大勢の参加を得ながら多地点で帰還するツバメの飛行ルートを調べ、その実態を明らかにしていきます。

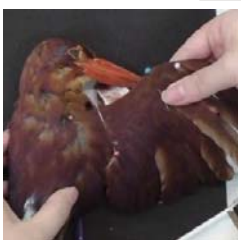


## 20年に1度の大型台風直撃! 生き延びたのは誰?

— ダイトウコノハズクの台風対策 —

中村晴歌 (北大・理学部4年) ・熊谷隼 (北大・理学部4年) ・澤田明 (北大・理学院博士3年)

2020年9月に亜種ダイトウコノハズクが繁殖する南大東島を台風が直撃しました。中村さんたちは、定期的に台風が直撃する島に生息する鳥類の進化には、台風が関わっているのではないかと考え、その影響を明らかにしようとしています。台風の影響が短期的なものなのか、長期的なものなのかを調べ、年齢や体サイズ、縄張りの質などと生存確率を比較し、台風と進化の関係を紐解いていきます。



## 鳥の翼の動かし方と機能

小林遥香 (千葉大学理学部生物学科4年)

スポーツマンの体の動きを捉える方法として、関節などに目印をつけて動画で撮影し、動きを解析する番組をテレビで見たことがあると思います。小林さんは「関節の動き」に注目し、鳥の翼の形状と飛翔スタイルの関係を明らかにしたいと考え、さまざまな分類群の鳥の標本を用いて、その翼の関節に印をつけて静止画や動画で撮影し、形状や関節の可動域などを数値化して分析することで、翼の形状の進化を明らかにしようとして計画しています。



## ヤンバルクイナの鳴き声収集と環境音からの自動識別

森下功啓 (熊本高等専門学校)

録音した音源から自動的に鳥の声を抽出して識別できたらどれだけ良いでしょうか?教師データ(鳴き声の音源と鳥の名前の組み合わせ)をたくさん用意することで、コンピューターに学習させて識別できるようにしようという取り組みは、まだ上手くいった例がありません。森下さんは、ヤンバルクイナを対象に、対象種の鳴き声のほか、環境音についてもたくさん録音し、識別できるソフトの開発を目指しています。

## 潜水性鳥類はマイクロプラスチックに汚染されているのか

徳長ゆり香（日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科4年）

海洋汚染を起こしているマイクロプラスチック（MPs）が、沿岸域の海底に多く沈降しており、貝類がたくさん取り込んでいるのではないかと考えた徳長さんは、潜水性鳥類がMPsに汚染されているのではないかと考え、その実態の解明に取り組もうとしています。この調査研究プランでは、混獲されて死亡したクロガモなどの死体を収集し、消化管内や臓器からどれくらいMPsが検出されるか調査する予定です。

## もっといるんじゃない？ 北海道の繁殖鳥類

－ ジョウビタキとオオムシクイの繁殖確認調査 －

土屋尚（Eureka!北海道）

全国鳥類繁殖分布調査に参加する中で土屋さんは考えました。面積が広く、夏鳥の中には大陸から直接渡ってきている鳥がいる北海道には、人知れず繁殖している鳥種がいるのではないかと。北海道で繁殖している鳥種を明らかにしていく活動の手始めとして、この調査研究プランでは日高山脈において、ジョウビタキやオオムシクイの営巣確認やその生息環境を明らかにすることを目指します。

## 地域みんなでアカモズを守る！

－ 市民科学と保全生態学への挑戦 －

青木大輔（北大・院理）・赤松あかり（北大・院理）・松宮裕秋（信大OB）・原星一（信大OB）

急激に分布が縮小したアカモズが長野県のリンゴ畑で繁殖していることを見つけ、調査を続ける中で農家の方たちとの関係を築いてきたアカモズ研究者チーム。この調査研究プランで青木さんたちは、調査範囲を広げ、より多くの農家の方にアカモズのことを知ってもらうために、農家の方に配るパンフレットの作成や、アカモズの巣を見つけた農家の方が簡単に報告できるシステムの構築を進めます。

## 伊豆諸島で繁殖しているツバメをしらべよう！

重原美智子

重原さんは小笠原諸島や伊豆諸島で観察されるツバメがどこからやってくるのか？島ごとの初認日を島に住む方たちの協力を得ながら調べることで明らかにしてきました。しかし、渡来したツバメがそのまま定着して繁殖しているのか、通り過ぎているだけなのか、何つがい繁殖しているのか、どんな環境で繁殖しているのかなど、まだわかっていない繁殖について明らかにしようと計画しています。

## ムクドリが好むねぐら環境の調査

－ ヒトとムクドリの共存を目指して －

バードリサーチ

ムクドリはどんな環境をねぐらに選ぶのでしょうか？全国からねぐらの情報を集め、環境データと比較することで、彼らが好むねぐらの条件を明らかにしようとする調査研究プランです。駅前のねぐらは追い払われることがあります。追い払うだけでなく、軋轢が起きない場所にムクドリたちを誘導できるようにしていきたい、ぼくらはそう考えています。

バードリサーチ 調査研究支援プロジェクト

[http://www.bird-research.jp/1\\_event/aid/kifu.html](http://www.bird-research.jp/1_event/aid/kifu.html)





# バードリサーチ 調査研究支援プロジェクト

## 支援意思表示 Fax 連絡票

お名前： ( ) ご住所： (〒 )

E-mail： ( ) 支援先にあなたのお名前を伝えたくない場合は右の口にチェックしてください

001 蓮田の防鳥ネット有効性(無効性)の検証, 野鳥の羅網死をなくすために  
境友昭 (日本鳥類保護連盟) ( ) 票

002 世界遺産平城宮跡で寝るツバメはどこから集まってくるのか  
-6万羽のねぐら入りルートを探る-  
奈良ツバメねぐら研究部 (岩井明子・西田好恵・三輪芳己) ( ) 票

003 20年に1度の大型台風直撃! 生き延びたのは誰?  
-ダイトウコノハズクの台風対策-  
中村晴歌 (北大理4年)・熊谷隼 (北大理4年)・澤田明 (北大院理博士3年) ( ) 票

004 鳥の翼の動かし方と機能  
小林遥香 (千葉大理4年) ( ) 票

005 ヤンバルクイナの鳴き声収集と環境音からの自動識別  
森下功啓 (熊本高専) ( ) 票

006 潜水性鳥類はマイクロプラスチックに汚染されているのか  
徳長ゆり香 (日本獣医生命科学大学獣医4年) ( ) 票

007 もっといるんじゃない? 北海道の繁殖鳥類  
-ジョウビタキとオオムシクイの繁殖確認調査-  
土屋尚 (Eureka!北海道) ( ) 票

008 地域のみinnでアカモズを守る!  
-市民科学と保全生態学への挑戦-  
青木大輔 (北大院理)・赤松あかり (北大院理)・松宮裕秋 (信大OB)・原星一 (信大OB) ( ) 票

009 伊豆諸島で繁殖しているツバメをしらべよう!  
重原美智子 ( ) 票

010 ムクドリが好むねぐら環境の調査  
-ヒトとムクドリの共存を目指して-  
バードリサーチ ( ) 票

■支援先を決めずに寄付する ( ) 票

銀行または郵便局から寄付を送ってくださる場合は、メールの代わりに、この用紙を使って Fax でご連絡いただくこともできます。  
Fax 後に銀行または郵便局の指定口座に、合計額を振り込んでください。

1票=1口 3000円 × 合計 ( ) 票  
= 寄付額合計 ( ) 円



送付・連絡先  
バードリサーチ調査研究支援プロジェクト担当 高木憲太郎  
E-mail br@bird-research.jp Fax 042-401-8661